

ご使用に際しては、この添付文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第 2 類医薬品

ウチダの漢方製剤

ウチダの 攻肥聖健

コウヒセイケン

85

分包

ウチダの攻肥聖健は、漢方処方にしがい生薬を配合し抽出して得た水製エキスを服用しやすい細粒の分包にしたものです。

使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
(5) 発汗傾向の著しい人。
(6) 高齢者。
(7) 今までに薬等により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
(8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
(9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等が見られ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
4. 1 ヶ月位（便秘に服用する場合には 1 週間位）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症：
高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症（副鼻腔炎）、湿疹・皮膚炎、ふきでもの（にきび）、肥満症

用法・用量

次の 1 回量を 1 日 3 回食前又は食間に服用する。

年 齢	1 回 量
大人（15 歳以上）	1 包
15 歳未満	服用しないこと

成分・分量

本品 1 日量〔3 包（1 包 2 g）〕中

トウキ	0.6 g
シャクヤク	0.6 g
センキュウ	0.6 g
サンシシ	0.6 g
レンギョウ	0.6 g
ハッカ	0.6 g
ショウキョウ	0.2 g
ケイガイ	0.6 g
ボウフウ	0.6 g
マオウ	0.6 g
ダイオウ	0.75 g
硫酸ナトリウム	0.75 g
ビャクジュツ	1.0 g
キキョウ	1.0 g
オウゴン	1.0 g
カンゾウ	1.0 g
セッコウ	1.0 g
カッセキ	1.5 g

防風通聖散料エキス……………3.22 g

賦形剤として乳糖水和物・バレイショデンプン、吸湿防止剤として軽質無水ケイ酸、その他 1 成分を含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）

●お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願い申し上げます。

株式会社 ウチダ和漢薬 03 - 3806 - 4141

受付時間 9：00～17：30（土、日、祝日を除く）

本剤は生薬を原料としていますので、製品により多少色が異なることがあります。効能・効果にかわりはありません。



株式会社 ウチダ和漢薬

東京都荒川区東日暮里 4-4-10